

《New Ground —新しい見方<17>》

夏休みも終わりですが… 来年に向けてお勧めスポット

池田宏基(文2・ジャーナリズム研究会)

夏といえば、都会の暑さから逃れるための避暑目的の旅行だ。避暑といえば高原。つまり山だ。海など断じて行くべきではない。ただでさえ暑いというのに、さらに暑いところに行ってしまうのだと真剣に思う。やはり暑い時には涼しい環境を求めると、生物として正しい行動なのである。そういうことで、夏を快適に乗り切るために避暑地について考えてみることにした。



(写真はイメージです)

避暑地として有名な軽井沢といえば、夏場は避暑目的、冬はウィンタースポーツ目的の観光客が集まる一大観光地だ。東京駅から新幹線で80分という近さもあいまってこの時期は大賑わいである。しかし割と近所が地元である私にとって、避暑地としてのイメージとは裏腹にそれほど涼しいというわけではない。確かに東京や神奈川に比べるといくらかマシだが、避暑目的ならば他にもっと涼しく過ごせる場所はあるのだ。今からでは少々手遅れではあるが、軽井沢をしのぐベストオブ避暑地を紹介したい。

軽井沢から車で約1時間の距離にある長野県小海町の松原湖。ここでの真夏の朝は、ようやく訪れた春先のそれに近い。日中でも気温は30度に達することはなく、エアコンを使わないことが日常であるほど。夜は眠るのに毛布を必要とするほどの涼しさで、都会の熱帯夜とは無縁の快適な睡眠がとれる。この環境を目当てに高校や大学の部活、サークルなどの合宿地としても利用されることもあるという。軽井沢というあまりに有名な観光地の影に隠れた、知る人ぞ知る名所なのである。

来年の夏の旅行先に困りそうであれば、混雑する軽井沢を回避するためのスポットとして考えておくのもいいかもしれない。

《マンガ》

合宿中に台風がきたよ

(漫画研究同好会・しまはるき 作)

